

## 設計報酬に関して

### ■ 計画・ご提案

無料

※業務の具体的な内容・流れは別資料「新築工事の際の大まかな流れと設計業務内容」をご参照ください。

### ■ 基本設計申込料

15~30万円

※ 物件の規模、用途によります。金額はご相談の上決定させて頂いております。

※ 設計監理業務委託契約に至った場合は、設計監理料に含みます。

### ■ 設計監理料の目安

・新築 : [ 総工事費 × ( 8.0 ~ 12.5 % ) - 基本設計申込料 ]

・リフォームや店舗の内装設計等 : [ 総工事費 × ( 10.0 ~ 20.0 % ) - 基本設計申込料 ]

※ プロジェクトの用途・規模・業務内容などによって変わります。詳細は別途ご説明・ご相談の上、決定させて頂いております。上記の計算式は、あくまで「目安となる設計監理料の想定」の際にご参考にして下さい。

と言いますのも、設計監理料は本来はその業務内容や量に応じて設定されるべきで、一律に「総工事費×( )%」として設定できるものではないためです。

用途が同じ建物の場合、総工事費が5000万円の建物と、1億円の建物とでは、設計監理の業務量が倍になるほど増えるわけではありません。(その場合、設計監理料の割合は下がります。) 同様に、1500万円の建物においても金額ほど業務量が少なくなるわけではありません。(その場合、総工事費に対する設計監理料の割合は上がります。)

高価な素材を採用するだけで工事費は上がり、アイデアと工夫によって工事費を抑えることも設計者の仕事です。

従って、あくまで「目安」として上記の通りご提示はできませんが、詳細は各プロジェクトの業務内容を踏まえて、お見積り・ご説明をさせて頂き、ご相談の上、最終決定させて頂いております。

その他、ご不明な点がございましたら、お気軽にご相談下さいませ。

### ■ 上記以外に別途必要となる費用

・構造設計料 : 建物の規模や構造上、必要に応じて専門事務所へ委託します。設計報酬の20%程度とお考え下さい。

・設備設計料 : 電気・給排水・空調換気設備等。建物の規模や用途により、必要に応じて専門事務所に委託します。  
(一般的な住宅では基本的に発生致しません。)

・建築確認申請等の各種申請料・検査手数料 実費 (建物の構造・規模によります。)

・建築確認申請提出後の大幅な計画変更諸費用

・遠方の場合の交通費 実費

・消費税

### ■ 其他のご留意点

・建築確認申請の手続き上、「構造計算適合性判定」が必要な規模の設計については、別途お見積りさせて頂きます。

・敷地測量図・地盤調査資料をお持ちでない場合は、作成に関わる費用が別途必要になります。

・地盤調査結果により、地盤改良工事費が必要になる場合がございます。

・既存の建物を取り壊す場合は、解体工事費が必要になります。

・カーテン、ブラインド、エアコン等の費用。(工事時にご自身で手配される場合)

上記以外にも疑問点などあるかと存じますが、細かい内容に関しましてはお打合せ時にご説明させて頂ければと存じます。

建物自体の工事費以外にも何かとお金がかかってしまいますね。

そういった部分も含め、全体のバランスを考えながらご提案・設計するよう、心がけております。